

2010年度(2010年4月1日~2011年3月31日)

特定非営利活動法人 ぐらす・かわさき 事業計画

■2010年度の方針

設立から10年目に入った今回の10回総会で、定款の見直しをし、第5条 事業 を現状にあった事業に変更します。そのことで市民活動・コミュニティビジネスの支援、子育て支援をはっきりと定款に書き込みます。

さらに今年度は第3期中期計画の初年度です。中間支援組織としての活動充実と子育て支援・市民交流の場の運営を2つの柱として、事業を展開していきます。

子育て支援・市民交流の場「遊友ひろば」の維持・運営に関しては、昨年と同じように、親子ひろば、健康麻雀、料理教室、貸しスペースを引き続き行います。さらに今年度から実験的取り組みとして、理事を講師とした小中学生対象のゆったり・じっくり算数・数学教室「寺子屋」を開設します。

人材の発掘・養成に関する取り組みは、地域の人材を活用した各種講座の開催、人材マッチング事業、自前で行うコミュニティビジネス支援のための講座、KSコミュニティビジネス・アカデミーへの講師の派遣など、地域のさまざまな市民活動グループや大学、また行政とも協力して行っています。

事務局体制は、設立時からのスタッフの2人のうち1人は3月に還暦退職し、残りの1人である事務局長は6月から親の介護で月の半分は不在になります。そのような状況を踏まえ事務局長の交代をします。そして新たに事務局次長、事務局長補佐のポストを設け、スタッフの世代交代をします。また雇用促進事業の受託によって、2009年度から2011年度まで2人、それに加えて2010年度だけです1.5人の新規雇用を行う予定です。

昨年の6月にたちばなランチ事務所をオープンしましたが、交流拠点機能には利便性が重要であることから、たちばなランチ事務所を統合し、「たちばなブランド創出推進事業」を中心に新規の雇用促進事業も加え、それらのスタッフが活動する高津新規事務所開設を検討していきます。

ぐらす・かわさきの基礎になっている会員については、昨年度の増加に引き続き、遊友ひろばの利用者へ働きかけをするなど、設立主旨に賛同してくれる新規会員を増やすため努力します。

■2010年度事業内容

以下の事業は、通年、多摩区内にある遊友ひろば及び法人事務所で、川崎市内で活動する市民活動団体と市民を対象に実施します。異なる場合は、その旨記載してあります。

(1) 市民活動を支援するための事業の企画・実施(定款第5条(1))

ぐらすサポート基金 < 従事人員 1名、場所 川崎市内、支出見込額 100,000円 >

ぐらすサポート基金2009年度助成団体の報告会を多摩区内で5月に行い、報告会終了後に2年目の助成金を支払います。また助成団体との連携について検討していきます。

「遊友ひろば」および書類入れ・レターボックスなどの貸し出し

< 従事人員 1名、支出見込額 0円 >

市民活動の活性化を目的に、遊友ひろばの貸し出し、手紙やFAXの受け取り場所としてのレターボックス、荷物の保管として引き出しの貸し出しを続けていきます。

遊友ひろばを市民活動の場として貸し出しするときには、施設協力費として2時間1500円(ぐらす・かわさき会員は1000円)をいただきます。

引き出し(書類入れ): 300円/月 レターボックス(手紙とFAX受付): 100円/月(ただしFAX受信は1枚10円の実費)とします。

情報の発信 <従事人員 1名、支出見込額 0円>

遊友ひろばの壁面を活用した情報掲示板を今後も継続していきます。地域の市民活動の情報を中心に、安全且つ見やすい掲示を引き続き工夫していきます。

地域の物販コーナーの運営 <従事人員 1名、支出見込額 0円>

遊友ひろばの市民活動の支援のための物販コーナーは引き続き運営します。

さまざまなグループへの参加と応援 <従事人員 3名、場所 多摩区内、支出見込額 0円>

・ **地域通貨「たま」運営委員会への参加**

「たま」運営委員会の事務局を担い、活動に参加していきます。特に地域内循環型マーケットとして、多摩区内での「たま楽市」の定期的開催や、昨年度から導入が始まった個人のマッチングシステムを活用できるよう、市民間の助け合いや市民活動団体とボランティアをマッチングしていきます。

・ **たまたま子育て祭り、たまたま子育てネットへの参加**

毎年9月に開催の多摩区の子育て支援のグループが一堂に会したおまつりに、今年も参加します。地域の人たちが子育ての社会化を考えるためのきっかけづくりを行うこと、子育て中の人・支援者・行政機関からの情報発信を行うこと、それぞれの立場の人たちの交流のなかで、多摩区内の子育てネットワークの充実を図ることの3つを目的に開催します。

・ **その他**

「区選出議員と市政を語る会」「たまよこネット」の事務局を応援します。また地域の市民活動グループからの呼びかけがあった場合は、できる範囲で積極的に関わっていきます。

高津区「たちばな農のあるまちづくり」推進事業

<従事人員 2名、場所 高津区内、支出見込額 1,100,000円>

前年度同様高津区からの委託を受け、「たちばな農のあるまちづくり推進会議」の運営および、会議で決定した推進事業の実施を、推進委員の方々と共に行っていきます。この事業を通して、都市農業の課題を探り、その解決を目指していきます。

(2) コミュニティビジネスを支援するための事業の企画・実施(定款第5条(2))

高津区「たちばなブランド」創出推進事業

<従事人員 4名、場所 高津区内、支出見込額 6,720,000円>

高津区役所から、厚生労働省ふるさと雇用再生特別交付金事業を受託し、新規雇用者2名とともに、2011年度までの予定で、同事業を遂行していきます。この事業をコミュニティビジネス創出サポートのモデル事業として位置づけます。

本年度は「たちばなブランド」の確立に向けて「たちばな野菜などの出張販売と配送事業」および「地域交流拠点の機能の整備」を行っていきます。

たちばな移動見本市事業 <従事人員 2名、場所 高津区内、支出見込額 2,500,000円>

川崎市高津区の都市農業の保全への取り組みとして、たちばな野菜の仕入れと販売を通じ、都市農業や地産地消への理解を広げる活動を進めます。

コミュニティビジネス振興事業 <従事人員 2名、場所 川崎市内、支出見込額 520,000円>

川崎市北西部のコミュニティビジネス創出サポートネットワーク「たまフォーラム」の会員として、

参加大学や行政とともに、コミュニティビジネスのプラットフォームを作っていきます。人材マッチング事業として相談窓口業務などコミュニティビジネス振興事業の委託を受け、取り組んでいきます。

川崎市コミュニティビジネス実態調査（緊急雇用促進事業）

＜従事人員 4名、場所 川崎市内他、支出見込額 6,200,000円＞

コミュニティビジネスへの体系的な支援体制を検討するために、川崎市におけるコミュニティビジネスの抱える課題や問題点を調査・分析する調査事業を市へ企画提案しました。この事業は緊急雇用促進事業として、国の補助金を川崎市が活用するもので、3名のアルバイトスタッフを雇用する計画です。6月の段階で決定されます。

農商工連携のための講座運営 ＜従事人員 2名、場所 川崎市内他 支出見込額 1,000,000円＞

たちばなブランド創出推進事業やコミュニティビジネス振興事業に関連し、農商工連携のための人材育成事業に取り組みます。全国商工会連合会または全国中小企業連合会の補助金が受けられるよう、申請します。

（3）子育てを支援する場所の運営及び関連事業の企画・実施（定款第5条(3)）

「遊友ひろば」の親子ひろば ＜従事人員 2名、支出見込額 500,000円＞

今年も昨年に引き続き、空き店舗コミュニティ施設「遊友ひろば」を活用し、0歳～3歳までの乳幼児とその保護者を対象に地域の毎週月・木曜日の親子ひろばを開催します。また、土曜日の親子ひろばについては、父親が参加しやすいような企画を検討し、年2回程度の開催にします。妊産婦の方が参加できるプログラムや、孤立しがちな親子も参加しやすいような仕組みを検討していきます。

会場設定、受付、初めての方への説明などをする「ひろばスタッフ制」に加え、参加者が自ら企画や運営に関わる「ひろば運営委員会」を開催し、親子ひろば卒業生で日中はお子さんが幼稚園などに行っているお母さんたちや学生さんたちによる、自主的な運営による親子ひろばにしていきます。

ドコモの助成金、川崎市経済労働局の補助金である地域課題解決型コミュニティビジネス支援事業（商店街活性化関連事業）など運営経費捻出のための資金確保にも努力します。また千代ヶ丘こども文化センターでの子育て支援センター業務の委託公募や 地域課題解決型コミュニティビジネス支援事業（地域連携型商店街活性化事業）へ親子ひろばの利用者と一緒につくる「地元商店街マップ作りプロジェクト」で応募します。

（4）市民が交流する場所の運営及び関連事業の企画・実施（定款第5条(4)）

「遊友ひろば」を活用して、次の事業を企画・実施します。

「遊友ひろば」の運営 ＜従事人員 1名、支出見込額 2,500,000円＞

空き店舗コミュニティ施設「遊友ひろば」を地域のたまり場として運営します。

健康麻雀 ＜従事人員 1名、支出見込額 100,000円＞

「遊友ひろば」を活用し、主に高齢者を対象とした、健康麻雀（賭けない、飲まない、吸わない）は、麻雀を楽しみながら自然に頭や指先をつかうことができ、心身の健康の促進が図られます。昨年に引き続き、金曜日の健康麻雀サロンと、火曜日の初級者健康麻雀サロンを開催します。

- ・ 麻雀ボランティアを募集し、シニアの方の協力をお願いしていきます。
- ・ 年に1回、新春麻雀大会を開催（金曜日）、初級者サロンでは昼食会やお茶会など開催し、参加者の交流と親睦を図ります。
- ・ 他の会場での開催に協力していきます。

- ・ ボランティアなどをして得た地域通貨「たま」を使うことができる、循環の場とします。
- ・ 新たな参加者を開拓できるよう、広報に努めます。
- ・ 参加者が地域に出て行くきっかけづくりを心がけます。

マクロビオティック料理教室 < 従事人員 1名、支出見込額 100,000 円 >

引き続き、遊友ひろばでマクロビオティック料理の講座を開催します。近頃アトピーやアレルギーの子どもが増えています。その一つの解決策でもある「自然の恵を残さず丸ごといただくこと（一物全体） 暮らす土地の旬のものを食べること（身土不二）」を基本とした「マクロビオティック」料理を学びます。幅広い世代を対象にし、地域の人たちが集い、講師を中心に共に学びあう場とします。

日時：第1水曜日 10時～13時（1期全4回を2期） 受講料：全4回で6000円、1回1800円

「遊友ひろば」を活用した各種講座の運営 < 従事人員 1名、支出見込額 0円 >

自主事業以外の時間帯に遊友ひろばを有効活用し、アートやクラフトなど地域の人材のファーストステップの活動場所を提供することを目的として、各種講座のコーディネートを行います。コミュニティ・ビジネスの人材の孵化器としても活用していきます。

昨年度までの大人の油絵教室・リトミックおんぷの講座に加え、今年度からは小中学生を対象にした「寺子屋」を実験的に開設します。

学習会・講座の企画・運営 < 従事人員 1名、支出見込額 0円 >

昨年から引き続いて行うものや会員からの持ち込み企画など、できる範囲で取り組んでいきます。

持続可能な地域づくりの学習会、憲法・平和問題の学習会、予算学習会他

商店街活性化のための活動 < 従事人員 1名、支出見込額 10,000 円 >

登戸東通り商店会の事務補助や、「エブリデイ・エコ宣言」の取り組みへの協力を行います。

(5)以上の事業に関わる調査・研究及び情報の収集・提供（定款第5条(6)）

講師派遣 < 従事人員 2名、場所 川崎市内、支出見込額 0円 >

専修大学からの委託事業として行った川崎市コミュニティビジネスの現況調査をテキストにし、KS コミュニティビジネス・アカデミーの講師を行います。またこの中で培った受講生との関係を活用し、コミュニティビジネス創出サポートに生かしていきます。

また昨年から引き続き、KS コミュニティビジネス・アカデミー生をインターンとして受け入れます。

ぐらすレターの発行 < 従事人員 3名、支出見込額 430,000 円 >

月1回（年間10回、4・5月合併、11・12月合併）発行。事業報告・地域の情報・商店街情報・イベント情報、または会員からの問題提起などの投稿を掲載し、会員や関係者へ情報提供します。

インターネットの活用 < 従事人員 1名、支出見込額 20,000 円 >

昨年度リニューアルしたホームページを活用し、地域のイベントや、商店街情報、市民活動に関わる情報も発信するようにします。ぐらすレターで発信されている情報など、収集した情報や既存の情報をうまく活かしてつなげるようにしていきます。

行政などに関わる委員会への参加 < 従事人員 4名、場所 川崎市内、支出見込額 0円 >

多摩区子育て支援会議に参加します。

高津区食育推進会議に参加します。

川崎市市民活動推進委員会へ委員として参加します。

川崎市住宅政策審議会へ「まちづくり」分野の委員として参加します。

かわさき市民公益活動助成金審査委員会に委員として参加します。